



もとみや

議会だより

第74号

令和5年4月発行



新年度スタート!!

新年度予算審査……………P.2～5
一般質問16名が登壇……………P.13～21

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
メールアドレス gikai@city.motomiya.lg.jp



200万円



市民一人当たり
約 48.4 万円

※ R5. 4.1 の人口 29,921 人

もとみや」を目指します！

議会と市民が 共に考える予算

担い手支援事業

議員の視点

様々な農業生産資材価格が高騰する中で、令和5年度農業振興予算については、若手農業者団体育成事業費 99 万 2 千円、認定農業者育成支援事業 2,191 万 7 千円が可決された。次世代を担う意欲のある農業者に対して、農業施設の整備、経営の改善や定着が果たされるか。



市民の一言

橋本 清徳さん

後継者の育成、技術の向上、組織体制、IT システムなどを含む機械設備などの総合的な応援、一定の目的を持った団体、または、個人の活動を間接的な指導で支援が必要。また本宮市内の業種の方々のご意見を賜り連携を図りながら本宮ブランド商品の開発を目指し、本宮市の農業の活性化につなげたい。

環境美化推進事業

議員の視点

一般的に環境美化活動というと、ごみを拾うこと、家の周りの掃除をすること、ごみの削減、不法投棄の防止など、環境美化活動は、美しいまちを将来の世代へ引き継ぐための取り組みであり、広い意味では、地球温暖化防止や自然環境の保護等につながる身近な活動。



▲清掃作業中

市民の一言

遠藤 泉さん

地域のみならずも環境美化に協力してください。ということは、ポイ捨てはやめましょう。住みやすいごみの無い美しいまち、本宮市の未来を作っていきます。

民生費	42億5,951万円	市民一人当たり 142,358円	子ども・高齢者福祉に
教育費	24億6,376万円	市民一人当たり 82,342円	学校教育や国際交流に
総務費	18億3,362万円	市民一人当たり 61,282円	職員給与や定住対策に
公債費	15億421万円	市民一人当たり 50,272円	借入金返済に
土木費	14億6,819万円	市民一人当たり 49,068円	道路整備・駅前整備に
衛生費	13億4,956万円	市民一人当たり 45,104円	新型コロナウイルス感染症対策等に
消防費	6億2,294万円	市民一人当たり 20,819円	消防・防災対策に
商工費	3億9,035万円	市民一人当たり 13,046円	商工業・観光振興に
農林水産業費	3億1,703万円	市民一人当たり 10,595円	農林業の振興に
議会費	1億8,399万円	市民一人当たり 6,149円	議員報酬・議会運営に
その他(労働費等)	7,883万円	市民一人当たり 2,634円	



一般会計 144億7,

「みんなが ^{住まいる}スマイル 元気なまち

予算編成方針

令和5年度の市政運営にあたっては、本年1月に、本市は合併16周年を迎えたことから、合併20周年へ向け、「みんなが ^{住まいる}スマイル 元気なまち もとみや」をスローガンに、「人口減少対策」を優先課題として捉え、市内小中学校給食費の支援、さらなる利便性向上のための地域公共交通の再編、本宮インターチェンジ周辺の商業施設誘致、五百川駅利用者の安全確保および利便性向上に向けた整備、防災・減災のための地域防災力の強化、脱炭素社会実現に向けてのゼロカーボン事業の推進等の施策を横断的に展開し、「人口の減らない市」を目指しています。

また、本市の魅力と元気を市民の皆様と共に創出することを基本とし、5年目を迎える第2次総合計画にかける将来像「笑顔あふれる人と地域が輝くまちもとみや」を目指し、市民サービスの維持向上に取り組むとしています。

子育てパパママリフレッシュ事業

議員の視点

0歳児を養育する保護者の負担を軽減するため、市内理美容室で使用できる商品券を、子育て支援員が各戸訪問時に配付する新規事業。保育所にて第2子以降出産による育児休暇中にも保育所入所中の児童が継続入所できるようになったこととあわせて、予算規模は少ないながら子育て環境の充実が求められる昨今において、着実に子育て環境の向上を行っていることが伺える意味で重要な事業となっている。



市民の一言

国分 久徳さん

広報もとみやで新規事業と拝見しました。試験的に0歳養育中の親に絞り、確実に予算がいきわたる様、子育て支援員により配付するものだと理解しました。つかの間かもしれませんが、0歳育児奮闘中の親にとってはリフレッシュになると期待します。何より精神的負担軽減が図れると思います。新規事業では理美容室で使える商品券と選択肢が1つとなっていますが、選択肢が3つくらいあれば、更なる事業効果が期待できるのではないかと思います。

ふるさと納税返礼事業

議員の視点

令和4年度12月末までのふるさと納税額が1億5,939万円となり、3月議会中には2億円を超えた。アサヒスーパードライなど新たな返礼品を追加しているほか、ふるさと納税ポータルサイト追加開設が功を奏し、5年度の歳入「ふるさと納税寄附金」3億円が予算化された。本市の魅力となる返礼品の充実が地域産業の活性化と予算達成の課題と思う。



市民の一言

伊藤 滋敏さん

ふるさと納税制度は、一般税収の少ない自治体にとって本当に有難い制度だと思えます。有名な地場産品を有する自治体の寄附額は数十億円に上っています。

半面、自治体間の競争も激しくなっており、アサヒビールだけでなく新たな地場産品を掘り起こすことで、本宮市と事業者がともに発展していけると考えます。

総務費

予算審査質疑
ピックアップ

防犯灯設置数は増えるのか

問 防犯灯設置工事とLED化工事の予算が昨年より増えているが、設置数は増えるのか。LED化は何基残っているのか。また、行政区管理分の防犯灯を市で管理する考えはあるか。

答 設置工事は50基を予定している。

昨年度より10基増である。LED化は900基残っており、昨年60基で今年は100基工事を行う。行政区管理は引き続き行政区での管理をお願いしていく。LED化を行う場合は補助もあるため利用していきたい。



民生費

老人クラブ活動支援費減の理由は

問 老人クラブ活動支援費が昨年より減額しているが、今後コロナでの活動制限がなくなり、活動が増えると思うがなぜ減額したのか。

答 老人クラブの単体会が少なくなっているため減額となった。予算は老人クラブの単体会数と単価で計算している。昨年より2団体減少した。

各会計予算額

一般会計	144億7,200万円
国民健康保険（事業勘定）	26億4,205万円
特別会計（直営診療施設勘定）	8,970万円
後期高齢者医療特別会計	3億3,173万円
介護保険特別会計	28億1,858万円
工業用地造成事業特別会計	1億2,645万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,362万円
水道事業会計	16億3,197万円
公共下水道事業会計	12億7,474万円
総計	235億0,084万円

一般会計の歳入内訳

市税	48億6,173万円
地方交付税	27億5,150万円
国庫支出金	15億9,383万円
繰入金	12億1,436万円
県支出金	9億2,571万円
市債	8億8,930万円
地方消費税交付金	8億1,500万円
寄附金	3億0,001万円
繰越金	3億0,000万円
その他（負担金及び分担金等）	8億2,056万円
総計	144億7,200万円

農林水産業費

色彩選別機の導入について

問 今回は、色彩選別機を何か所に導入するのか。今後も導入していくのか。また、導入後に一等米の割合が増え、よかったと聞いている。市は、このことについてどのように考えているか。

答 ライスセンター全6か所のうち、令和4年度に4か所導入した。令和5年度は1か所導入予定である。令和6年度以降に、残りの1か所に導入の働きかけをしていく。

精度の高い色彩選別機なので、ほぼ一等米になる。所得向上につながっているものと考ええる。

教育費

図書館へ、デジタル化の 図書の導入は

問 図書館の図書の購入について、デジタル化の図書を導入している事例もあるが、紙の図書を購入するのか。

答 すべて紙媒体の図書を購入する。デジタル化の図書も検討したが、新しいものが出ないこと、単価が高いこと、また、購入しても著作権をずっと持つことはできず期間限定での購入となることなどから、県内の他自治体の利用状況をみながら、今後参入するか検討していく。

市長への総括質疑

カーボンニュートラル今後の取り組みは

問 電気自動車の予算が計上されており、議会においても水素社会ということで、上尾市との合同研修会の中で講演会を行った。浪江町や田村市でも様々なことに取り組んでいる。本市として、今後カーボンニュートラルについての取り組みについて伺う。

一般質問でも、給食費の問題について答弁があった。今年度は二分の一の補助という事であった。さらに、自民党の中で政府に要求するという話があった。これらについて伺う。

答 カーボンニュートラルについて、本市としては代替エネルギーの加速や日本初の水素ステーションのオープンが見込まれている。小さい市ではあるがそこから発信していこうという決意のもと、できることを一つ一つやっていきたいと思っている。本宮は本宮のスタンスということで、原材料を持ってきて、本市で水素を使ってカーボンニュートラルに貢献していくことと想っている。

給食費については、茂木幹事長が、自民党として給食費の無償化を政府に提案するという話をされた。今後も国に要望を続けていき、無償化になれば、ふるさと納税の予算を違ったサービスに使えるようになる。子ども家庭庁をどのような形で進めていこうとしているのかを踏まえながら、市もプラスアルファできる財源を探しながら、より手厚いサービスを行っていきたいと考えている。

各会計予算など 36 議案を可決

3月 定例会

3月定例会（第2回本宮市議会定例会）は、諮問1件、条例の制定や各会計予算など33議案、議員発議3件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情1件が提出され、採択と決定しました。

令和5年度の各会計予算については、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページの掲載のとおりです。

補正予算のおもな内容		補正額
歳出	第3弾プレミアム商品券発行等事業 (原油価格・物価高騰等対策事業補助金)	6,202万円
	五百川駅前広場整備事業(基金積立金)	5,000万円
	市道碓森線整備事業(測量設計委託料)	1,000万円
	橋りょう維持事業(一本松橋修繕設計業務委託料)	1,000万円
	みずいろ保育所第2期整備事業(土地開発基金積戻金)	2,579万円
	しらさわ夢図書館機能充実事業(工事請負費)	638万円
	本宮駅東西自由通路および駅舎整備事業 (JR負担金の減額)	△5,967万円
	東日本大震災対策事業(恵向公園原形復旧工事費の減額)	△3,850万円
歳入	市税	7,037万円
	地方譲与税	△1,143万円
	地方交付税	3,179万円
	農業水利施設等保全再生事業基金繰入金	1億9,744万円
	白沢公民館改修事業債	6,900万円

令和4年度本宮市一般会計補正予算(第11号)の主なものは表のとおりです。

第3弾プレミアム商品券発行等事業の予算を計上

一般会計補正予算(第11号)

議案質疑

夢図書館工事について

問 しらさわ夢図書館の機能拡充工事は、4月上旬のオープンに間に合うのか。

答 リニューアルに併せて、当初予定していなかった床の絨毯の工事を行う。3月いっぱい完成し、4月2日のリニューアルオープンには間に合う。



リニューアルされた
しらさわ夢図書館

令和4年度

一般会計総額 197億9,195万円に

議案第19号に対する質疑

議案第19号 荒井等仮置場原状回復工事請負契約の一部を変更する契約については、1億円以上の増額となる変更であり、委員会付託を省略しての議決となったため複数の議員から質疑がありました。

問 地権者要望により土量が増えたという事だが、なぜ、1億9千万円の工事で1億2千万円の追加という事が起きたのか。

答 大きな要因として土量を容積計算により積算したが、想定より多かったこと、土の運搬距離が当初7キロとしていたが、残土の有効活用のため約21キロの距離である堂平の仮置場へ運搬をしたことなどがある。地権者の要望は過剰な要望ではなく国と協議しながら許容の範囲内で行った。

問 この工事は当初1億9千万円で、議会の議決を要する工事であった。変更になるのであれば、早めに議会へ報告をすべきではなかったか。

答 ここに至るまでに、大きく増えるということが分かっていたので、その中間に議会へきちんと説明をしなければならなかった。そこに至らなかったことを、おわび申し上げる。

副議長選挙

渡辺秀雄議員が副議長に就任



定例会最終日の24日に副議長選挙が行われ、指名推選により渡辺秀雄議員が副議長に就任しました。

五百川駅整備検討特別委員会の解散を報告

3月定例会初日の委員長報告で、作田博委員長から、五百川駅の利便性の向上を図るべく調査研究をまとめた提言をもとに、執行部に要望書を提出してきたことなどから、各事業の今後の進捗状況の確認は、所管常任委員会に引き続き、調査を終了することに決した報告があり、全7回の委員会をもって解散となりました。

人事

任期満了に伴う副市長の任命についての議案が上程され、全会一致で同意しました。

副市長（再任）

渡辺 正博氏

（仁井田字小坂）

任期満了に伴う教育委員会委員の任命についての議案が上程され、全会一致で同意しました。

教育委員会委員（再任）

古宮 博文氏

（本宮字大町）

人権擁護委員の推薦について諮問があり、人権擁護委員法に基づき、法務大臣に推薦することに全会一致で同意しました。

人権擁護委員（再任）

鈴木 久美子氏

（長屋字鼓石）

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市個人情報保護法施行条例制定のほか議案5件が付託されました。
主な審査内容は、次のとおりです。

本宮市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

説明 「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」が公布され、この改正により「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」も改められたことに伴う改正。

問 条例改正により具体的に実施する内容の詳細は。

答 放課後児童クラブにおいて安全計画を策定し、職員に対して計画に基づく研修や訓練を定期的に実施する。また、保護者に対しても安全計画に基づく取組内容について周知を行う。



▲まゆみ放課後児童クラブの活動場所

本宮市個人情報保護法施行条例制定

説明 「個人情報の保護に関する法律」を改正する法律の施行により、個人情報の取り扱いに関する規定が一本化され、法律の規定が直接自治体に適用されることから、本宮市個人情報保護条例を廃止し、改正法の施行にかかる委任事項等を定める。

問 廃止する個人情報保護条例と今般制定する個人情報保護法施行条例の主な違いは。

答 これまで団体ごとに異なっていた個人情報の取り扱いが、全国的な共通ルールとして国の法律の規定が適用され、本市の旧条例には規定されていない個人情報の取り扱いにかかる罰則規定が、国の法律施行に伴い追加された。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市犯罪被害者等支援条例制定のほか議案3件が付託されました。
主な審査内容は、次のとおりです。

本宮市犯罪被害者等支援条例制定

説明 犯罪被害者等支援として、見舞金の給付を行う条例の制定をする。

問 犯罪被害者への見舞金の給付については、どのような状況で支給されるのか。

答 見舞金は、警察による犯罪認知状況を確認のうえ、速やかに支給を行うこととなる。また、市の見舞金は、数ヶ月の処理期間を要する警察制度の給付金の支給が行われるまで、被害者の家計を支えていく役割をもつ。

本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

説明 出産育児一時金として出産した方に支給する額を40万8000円から48万8000円へ変更する。

問 本市の出産費用の平均額はどの程度になるか。

答 本市の出産費用の平均額は、約50万円であり、今回上程した出産一時金と近い費用となっている。



産業建設常任委員会



▲関根橋架け替え工事箇所

産業建設常任委員会には、本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定についてほか議案3件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定

説明 道路占用料徴収条例の一部改正に伴い制定するもの。

問 恵向公園に整備しているグラウンドゴルフ場の市内と市外利用者の利用料金について。

答 利用料金については、市内・市外を問わず同一料金としている。利用者の多くは高齢者であり、満75歳以上の市内高齢者については、規則で無料としている。

本宮市定住促進住宅条例の一部を改正する条例制定

説明 単身者が入居可能となるよう入居要件の緩和を行うため制定するもの。

問 単身入居者の家賃滞納への対応は。

答 入居申込時の面談の際に、所得証明書などの提出を求めており、支払い能力の確認を行っている。また、入居後は納付状況を確認し、滞納となつた場合は、催告または面談を行うことで未納の解消を図っており、滞納による退去に繋がらないよう努めている。

現地調査

五百川駅前広場工事箇所、関根橋架け替え工事箇所の現地調査を行いました。

意見書提出

3月定例会において、発議第3号が可決されたことを受け、国に対して意見書を提出しました。意見書の内容については以下の通りです。

学校給食費の無償化を求める意見書

学校給食法の改正により、同法の目的に学校における食育の推進が規定され、その充実を図ることが求められております。

学校給食法第2条に定める学校給食の目標の達成に向け、学校では給食を通じた食育が行われてきました。その意義は大きく、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっております。

平成30年度学校給食実施状況等調査によると全国平均で小学校が年間4万7773円、中学校が5万4351円と、教材費や制服、体操着、学用品、修学旅行積立金等の学校関連費の家庭負担の中でも、給食費の負担が大きい状況であります。当初は自己負担が求められていた教科書については、教科書無償措置法等により無償化されました。学校給食費についても、義務教育段階においては教科書と同様に無償化させ、家計負担を軽減させることが必要であります。

平成29年度「学校給食費の無償化等の実施状況」及び「完全給食の実施状況」の調査結果によると、1740自治体のうち何らかの形で無償化や一部補助を実施しているのは、506自治体であり、そのうち小学校と中学校ともに無償化しているのは76自治体に留っております。財政余力が十分でなく無償化の実施が困難な自治体も多量中、義務教育の家庭の費用負担で自治体間格差が生じることは問題であります。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、学校給食費無償化を推進するため、自治体への支援を行うよう、強く要望します。

議会運営委員会 議会運営の先進地を視察



1月24日に、埼玉県所沢市議会において、「議会基本条例の検証」、「政策討論会」、「議会評価」について調査を行った。

「議会基本条例の検証」

改選期ごとに基本条例の見直しを行っており、条項ごとに、実施・未実施を含めた目標達成度、今後の方向性について評価している。さらに、基本条例の改定に関する取り組みでは、専門的知見の活用として、大学教授に調査依頼をし、今後の課題などを報告いただいている。

「政策討論会」

年1回以上行うと規定されており、公開で行われる。特

定のテーマに対する議員間討議をとおして、政策立案・政策提言を積極的に推進するものである。常任委員会ではテーマを持ち、政策討論会を政策形成サイクルの中に位置づけ、視察・調査等のひとつとして、市民に報告し、議論を深め、政策提言につなげている。

「議会評価」

年度末に、議会運営委員会と広聴広報委員会が所管事業の自己評価をし、議会評価報告書としてまとめ、委員会で了承の後、ホームページで公表している。同時に、議会基本条例に規定する項目の評価も行っている。

議会評価の導入目的は、一年間の主な事業の総括と、議会基本条例の進捗確認であり、課題としては、自己評価の達成度の明確化、外部評価、議員個人の評価などであった。

議会運営は、各議会によって多様な考え方や手法があり、本市の状況に最も合う姿を検討していくため、今後もさらに調査研究を重ねていく必要があると考えている。

広報広聴委員会 議会広報先進地を視察

1月30日に、埼玉県寄居町議会において、「議会だよりの編集」、「議会モニター制度」の調査を行った。

「議会だよりの編集」

寄居町議会の「お元気ですか 寄居町議会です」は全国町村議会議長会広報コンクールにおいて平成29年度から令和2年度まで4年連続で最優秀賞を受賞しており、細部まで工夫を凝らした議会だよりのなっている。

特徴的な取り組みとしては、読んでもらえる議会だよりのためには特集記事と住民登場が重要と考え、議員が自ら住民インタビューに伺い、住民が登場する企画に取り組んでいる。

また、表紙は、記事との連動性等も考慮し、内容に即したものとされており、表紙から記事の内容に入りやすくする工夫を行っていた。

さらに、予算決算の時などには議員一人一人の予算決算への思いを一言ずつ掲載しており、議員の思いを住民へ伝える取り組みを行っている。

これらの取り組みを通して、より多くの住民に議会だよりの読んでもらえるように工夫がなされていた。



▲研修の様子

「議会モニター制度」

寄居町議会では、令和元年度に一度議会モニター制度を実施した。それ以降はコロナ禍で中止となっているものの、広報紙編集の段階で様々な世代の住民インタビューを行っており、その際に様々な意見等を聞いているため、現在のところ、再開はしなくても十分住民の意見を聞くことができているとの話があった。

寄居町議会における広報広聴活動は、議会に対する関心を持つてもらったための工夫がされており、このような先進的な取り組みは、本市議会の今後の広報広聴活動を考えるうえで、大いに参考になった。

本会議での討論

3月24日の本会議で、議案第28号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第28号 令和5年度本宮市一般会計予算

反対討論 渡辺忠夫 議員

子育て支援について、保育士の6割以上が非正規職員であるということは異常である。必要人員は正規職員にすべきである。また、第一子の保育料も無料にすべきである。国際交流事業では、イギリス派遣事業について、教育にはいろいろな視点が必要であるのに一面だけを強調するのは検討が必要である。農業支援対策については、米農家のみならず、農家の多くが、採算割の販売価格に苦しみ、借金を重ね経営を維持するか離農するかの選択を迫られている。支援が不十分である。会計年度任用職員について、本宮市では正規職員よりも多いことに驚いている。※アンケートの結果で6割が年収200万円以下であり、単独で生計を維持している方の2分の1がワーキングプアの水準であることが分かった。市民の命と暮らしを守るため本案に反対する。

※全国の自治体で働く会計年度任用職員を対象に、日本自治体労働組合総連合が令和4年5月末から9月末までの期間に行ったアンケート

賛成討論 菊田広嗣 議員

子育て支援については、新たに市内の理美容室で使用できる商品券を、子育て支援員が配付し、0歳児を養育する保護者の精神的負担を軽減する「子育てパママリフレッシュ事業」を開始するなどして、さらなる充実に向けての取り組みが開始される。

次に学校給食費の支援については、本来、国が率先して実施するべきではあるが、食育の充実を図るため、新たに給食費の2分の1を負担することで保護者の負担軽減を図っている。

次に国際交流については、英国のウィリアム王子のご来訪を機に、これまでも英国庭園の開園や、「未来へつなげる もとみや英国訪問団」による英国との交流により、グローバル人材の育成や、地域の活性化を行ってきた。引き続き、本市と英国との関係をより深化させていくとしているため、本案に賛成する。

3月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は12ページのとおり全会一致で可決されています。

会派名	みらい創和会				新風会			志誠会		共	無所属									
議員名	円谷	石橋	磯松	渡辺	斎藤	川名	根本	三瓶	橋本	菊田	渡辺	遠藤	馬場	三瓶	菅野	渡辺	伊藤	作田	国分	
議案番号	長作	今朝夫	俊彦	紀雄	雅彦	順子	利信	裕司	善壽	広嗣	忠夫	初美	亨守	幹夫	健治	秀雄	隆一	博	勝広	
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（三瓶裕司）は採決には加わらない
※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第4号	副市長の選任について	同意
議案第5号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第6号	本宮市犯罪被害者等支援条例制定について	原案可決確定
議案第7号	本宮市個人情報保護法施行条例制定について	原案可決確定
議案第8号	本宮市情報公開等審査会条例制定について	原案可決確定
議案第9号	本宮市行政不服審査法施行条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第10号	本宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第11号	本宮市放課後児童保育条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第12号	本宮市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第13号	本宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第14号	本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第15号	本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第16号	本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第17号	本宮市定住促進住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第18号	本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第19号	荒井等仮置場原状回復工事請負契約の一部を変更する契約について	原案可決確定
議案第20号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第21号	令和4年度本宮市一般会計補正予算(第11号)	原案可決確定
議案第22号	令和4年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第23号	令和4年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第24号	令和4年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第25号	令和4年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第26号	令和4年度本宮市水道事業会計補正予算(第6号)	原案可決確定
議案第27号	令和4年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第28号	令和5年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第29号	令和5年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第30号	令和5年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第31号	令和5年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第32号	令和5年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第33号	令和5年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第34号	令和5年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第35号	令和5年度本宮市公共下水道事業会計予算	原案可決確定
議案第36号	令和5年度本宮市一般会計補正予算(第1号)	原案可決確定
発議第1号	本宮市議会個人情報保護条例制定について	原案可決確定
発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
発議第3号	学校給食費の無償化を求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書(議会運営委員会)	決定
	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決定

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名	提出者の氏名	審議結果
陳情第1号	令和5年2月10日	省略	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	採択

一般質問

市政を問う

3月定例会の一般質問は、16名の議員が登壇し、4日間にわたって行われました。内容を要約してお伝えします。

14ページ：

■菊田広嗣 議員

- 潜在的困窮児童の把握は
 - 生理的貧困に該当する児童把握は
- ### ■菅野健治 議員
- 児童・生徒のいじめについて
 - 人口減少対策について

15ページ：

■作田博 議員

- 給食費の無償化について
 - 百田川改修事業の進捗について
- ### ■磯松俊彦 議員
- 在宅介護当事者へのアンケートは人が集うまちづくりについて

16ページ：

■馬場亨守 議員

- 修繕を必要としている市道は
 - 公共施設の管理運営について
- ### ■齋藤雅彦 議員
- 自主避難個別計画の作成について
 - まちごとハザードマップの取組は

17ページ：

■渡辺由紀雄 議員

- 本宮・C東部地区の開発について
 - 移住・定住促進に向けた取り組みは
- ### ■根本利信 議員
- 農業振興公社の立ち上げの考えは
 - 高木地区遊休農地解消独自の支援は

18ページ：

■国分勝広 議員

- 少子化対策の一助としての施策
 - 教育や子育てで選ばれる本宮市へ
- ### ■石橋今朝夫 議員
- 危険な場所を把握しているのか
 - 巡回指導の取り組み状況は

19ページ：

■円谷長作 議員

- 高齢化と生活弱者に対する支援策
 - 交通安全に向け標識の点検を
- ### ■遠藤初実 議員
- 市道の管理について

20ページ：

■川名順子 議員

- 障がい者手帳をカードやアプリに
 - 奨学金の代理返還支援は
- ### ■渡辺秀雄 議員
- 迎える車を待つ場所が必要では
 - 寄附金の使途が分かる予算編成に

21ページ：

■渡辺忠夫 議員

- 老人クラブ支援対策は
 - 国保税の負担軽減すべきでは
- ### ■伊藤隆一 議員
- 日影沢頭首工改修事業について



▲新たな行政区支援の検討は

問 いじめの現状は。今年度は、どのような対応をとっていたのか。保護者への対応は、十分か。不登校へは発展していないか。いじめ撲滅に対する考えは。

答 保護者へ連絡し、事実確認を行う。場合によっては、一緒に話し合う。今年度においては、いじめが原因で不登校につながっていない。いじめは命につながる重大なもの、命という事を根幹に据え、傍観者は作らないことも大切である。

問 本宮市の人口は、3月1日現在、HPによると三万人を切った。人口三万人以上を維持したい市にとって、減少を止める施策を検討しなければならぬ。人口減少対策を優先課題として捉えているが見解は。

答 補助をしたから人口が増える事には、期待していない。今までやってきたことがすべて効果はなかったという事はなく、効果ははっきりしている。制度を分かっていて、利用された方は少ない。制度を作りながらどう発信していくかが重要。

その他の質問

- ・旧しらすわ温泉について、市の対応は十分か
- ・行政区支援事業について、地域活性化の方策は



問 児童・生徒のいじめについて
答 一学期終了時点では73件

菅野 健治
議員
(無所属)

問 人口減少対策について
答 定住を進めるには発信力が必要

問 把握されている困窮児童のほとんどは就学援助や生活保護を受けている等、申請があつて把握する流れが多いように感じるが、自己申告はなく自ら隠しているような潜在的困窮の児童を把握するためにどのような取り組みをしているのか。

答 学校においては毎月集金などをしていて。そういった納入状況の中から支援が必要だと思われる子供について相談を受け付けている。また、先生が児童生徒と接する中で生活状況に問題があると感じた場合は早めに把握して対応している。

問 生理の貧困という繊細な問題で、言いづらい子が出てくるのが社会的問題の原因の一つになっている。把握も必要だが、まずは今、喫緊で困っている子供たちの為に、トイレで自由に持っていた形を作つてあげていただきたいと思うが。

答 一部の中学校でトイレに設置して検証を進めている。今後の課題を把握して全中学校に設置を進めたい。学校以外の公共施設については、例えば白沢公民館に設置している。教育委員会と今後どのようにしていくか協議を進めていく。

その他の質問

- ・無園児の把握は
- ・人口増政策について



▲生理の貧困解消を (写真はえぼか内)



問 潜在的困窮児童の把握は

答 先生が児童と接する中で把握する

問 生理の貧困に該当する児童把握は

答 今、モデルを進めている

菊田 広嗣
議員
(志誠会)



▲学校給食費の無償化を



問 給食費の無償化について

答 給食費の半額を支援する

作田 博
議員
(無所属)

問 子育て支援は重要課題である。その一環として義務教育児童生徒に対する給食費の無償化は。福島県下23市町村が無償化を実施している。自治体間で優位性を競って行うことではない。地方から国を動かす必要があるのではないか。

答 学校給食の無償化については、本来保護者が負担するのが原則と考える。負担軽減や無償化は国が行うべきである。令和5年度よりふるさと納税を使って半額支援する予算を計上した。地方から声を出し今後の活動の中の一つとしてとらえていきたい。

問 この河川改修については地域の皆様が市議会への要望活動など長年にわたって行ってきた。昨年12月に説明会が行われ、順調に工事が行われてきたが、突如として休工となった。実態と再開の見通しは。

問 百日川改修事業の進捗について
答 工事再開の時期は未定

答 県道須賀川・二本松線の枝沢橋の架け替え工事は、12月に説明会を開催し工事を進めていた。工事現場に隣接する住民の方から騒音の低減に関する要望があったことから中断となった。現段階での再開は未定。早期着手を要望する。



問 在宅介護当事者へのアンケートは

答 現在のところ予定していない

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 在宅介護に関する施策を改善するためにも、当事者へのアンケートを行っている。

市内観光スポットでタクシーでないと回れない場所と公的な助成が入った交通手段で行ける場所が出てくるのではおのずと利用実態に違いが出てくるのでは。

答 当事者の方々へのアンケートは現在のところ予定していない。新しいシステムでは停車しない観光地も出てくる。その観光施設について観光を目的としてタクシーを利用する場合に、料金について一部を助成することを検討中。

問 人が集うまちづくりについて

答 駐車場を整備街歩きに役立てて

問 若い人が本宮で活躍するためには、魅力的なまちづくりが必要。若い人の感性をどのように取り取っていく考えか。中心市街地周辺の駐車場確保にかかわる施策を推進し、街歩きできるような制度を設計することが有効ではないか。

答 後期基本計画策定にあたり開催の、市民ワークショップや本宮高校の生徒さんとの取り組みの中で聞き取りながら参考にさせていきたい。旧第1保育所跡地に整備した駐車場は市街地を利用される方に開放、下町スマイルパークも整備中。

その他の質問

- ・高齢者世帯の生活の安全確保について
- ・人が集う拠点づくりの支援は



▲中心市街地周辺の駐車場の確保を



▲水防災に関わる情報をまちなかに標示しては

問 1人で逃げるのが難しい避難行動要支援者に対して個別避難計画作成が市町村の努力義務になったが、どうやって作るのか。また計画にはどう支援者を集めるかが重要になる。支援者の負担軽減が支援者の確保につながるのではないか。

答 要支援者の生活実態を把握する福祉専門職、自主防災組織や町内会及び行政機関が一体となり計画を進める。より多くの支援者確保に繋がる、有事の際に責任問題にならない仕組み作りを地域や自主防災の皆様の意見を伺いながら進める。

問 まるごとまちなかハザードマップは地域の水の危険性を実感できるような居住地域をまるごとハザードマップと見立てまちなかに水防災に関わる洪水・内水の浸水する深さや避難所及び避難誘導情報を標示するが取組の考えは。

答 まるごとまちなかハザードマップの取組は非常に有効だと思いが現在、マイ避難・マイタイムラインの推進を進めている。5年度は地域防災マネジャーやスキルを持つ職員を活用し推進しながら、市民の防災意識の高揚を図っていく。

その他の質問

・保育所や幼稚園に通っていない無園児の把握は



問 自主避難個別計画の作成について
答 逃げ遅れが出ない仕組みを作る

齋藤 雅彦
議員
(新風会)



問 修繕を必要としている市道は
答 令和5年2月で34kmである

馬場 亨守
議員
(無所属)

問 ①修繕を必要としている市道は延何kmか。また、その修繕費はいくらか。
②万世・鍋田線、平井一号線、孫市・太子堂線修繕計画は。

答 ①令和5年2月で34kmである。修繕費は、11億3000万円。
②部分的に修繕する。孫市・太子堂線は、令和5年工事費に計上する。

問 旧第三保育所について、地元町内会へ公園として利用を開放してはどうか。

答 兼谷平公園があり、開放する予定はない。普通財産として管理する。

問 公共施設の管理運営について
答 旧第三保育所(兼谷平)解放できない

その他の質問

・農地の区画整備事業について



▲修繕が必要な道路の修繕計画は



▲本宮 I C 周辺地域の一体的な開発を目指すべき



問 本宮 I C 東部地区の開発について

答 優先順位に沿って進める

渡辺由紀雄
議員
(みらい創和会)

問 本宮 I C 周辺は交通の要衝であり、利便性が高い地域である。現在交渉中の商業施設の進出と併せ、地域全体の構想を策定し、土地利用計画を見直して一体的な開発を目指すべき。

答 全体構想の必要性は承知しているが、まずは現在交渉中の物件について優先して注力をしていきたい。そのために必要な作業は粛々と進めていく。

問 本市では宅地造成奨励金制度を設け民間事業者に宅地の提供をお願いしている。9年が経過した中、この制度が移住定住促進に果たした効果を検証しているのか。

問 移住・定住促進に向けた取り組みは一定の効果があった

答 この制度を利用して造成された宅地は 414 区画に上った。購入者の詳細については調査していないが若年層からの問い合わせが増えている。また、移住をされた方が一定程度購入したものと理解している。

その他の質問

・白沢地区の活性化について具体的な案はあるのか



問 農業振興公社の立ち上げの考えは

答 現段階では設立は考えていない

利信 根本
議員
(新風会)

問 農作業の受委託、耕作放棄地対策、人材育成循環型農業とあらゆる問題に対して5年、10年、15年の農業を見据えた農業振興を考えれば、地域農業の活性化と振興の拠点づくりとして、持続可能な農業推進するため農業振興公社を立ち上げるべき。

答 農業振興公社、先進地を見ると公社を立ち上げていることは承知している。本市は、農業を取り巻く課題、様々な問題があるが、公社についてどの事業に取り組んでいくか、どのような位置づけで進めるか検討が必要。現段階では、設立については考えていない。

問 高木地区遊休農地解消独自の支援は

答 今後皆様の状況聞きながら検討

問 コロナ禍で地域住民のコミュニケーションがとりにくく、高木地区で遊休農地対策として、地域一体でザルギクを栽培し環境、景観の維持に取組んでいる。本市として遊休農地解消、地域の活性化に向けた後押しをできないか。

答 近隣市町村からも鑑賞に訪れ交流人口の増加にも一役買っている。ザルギクなどの花卉の作り手は遊休農地の解消の取組みの一つ。今後、遊休農地の集約等支援する。高木地区は、第一種の住宅地のため何ができるか皆様の状況を聞きながら検討していく。

その他の質問

・カーブミラーの安全管理と安全対策は



▲遊休農地解消と地域の活性化に向けた後押しを



▲市道の危険な場所の把握は

問 郡山市市道交差点で死亡事故があった。市道は以前から危険性を感じた場所であり停止線や中央線が不鮮明。現場点検で一時停止の標識があれば事故は防げたとの意見がある。本市市道の危険な場所の把握と事故後の点検は行ったのか。



答 市道の交差点で過去に交通事故が起きた、同じ幅員で停止線がない交差点は13カ所、本宮地区6カ所、白沢地区7カ所の交差点が危険度が高いと捉えている。郡山市の痛ましい事故があり、現場を再確認し、引き続き警察と協議を進めている。

問 子供の受け皿は増えてきたが、保育の質の低下も指摘されている。現場の多くが慢性的な人手不足にあり、経験年数の浅い若手中心の職場も少なくないといわれ、継続的な研修の実施や若手保育士の巡回指導などの取り組みを行っているのか。

答 本市では若手が多い状況であり、新人保育士の指導は引退された方にお願ひし、巡回指導を行っている。職場を訪問して一緒に保育を行い指導力のアップを図った。研修も進んでいる。

その他の質問

- ・道路法面の支障木伐採状況は
- ・県道の未改良地区の整備計画は

問 危険な場所を把握しているのか
答 警察と協議を進めている

石橋今朝夫
議員
(みらい創和会)

問 ①本市の保育所では第二子出産時に第一子が保育所を退所させられるが第一子の継続入所ができるよう改善されたのか。
②令和3年度の一般会計は12億円の赤字決算であるが、今後の財政状況によるが、小中学校の給食費の無償化が可能では。

答 ①令和5年度から希望者の方には既に保育所に上の子がいる場合、そのお子さんの継続入所ができるように対応させていただきたいと思っ

問 埴町で教科書の読解力向上に三年間の地道な取り組みにより小中学生の読解能力が高まり、学力テストの結果も全国平均を上回った。富山県舟橋村では独自に講師を雇用し、中学校では先生2人による少人数指導を数人による少人数指導を数人が本市の取り組みは。

答 先生ばかりではなく電子黒板の活用を図っていく。まず教育の質を上げるため、人材育成を含め教員研修の場を確保するなどをして対応を進めていきたい。

問 教育や子育てで選ばれる本宮市へ
答 教員研修を確保して対応を進める



問 少子化対策の一助としての施策は
答 令和5年度から対応していきたい

国分 勝広
議員
(無所属)



▲子育てや教育に関する施策の充実を



▲すべての人に健康と福祉を



問 高齢化と生活弱者に対する支援策は

答 生鮮食料品等の宅配をスタート

円谷 長作
議員
(みらい創会)

問 高齢化率と世帯数は。また、買い物や病院などへの交通手段と買い物不便地等の生活弱者への支援策は。徒歩での買い物は500m位が限度ではないか。市内全体の問題として地域に合ったやり方を検討するべきではないか。

答 高齢化率は29・2%。高齢者のみの世帯数は539世帯（本宮地区427、白沢地区112）である。白沢地区で買い物支援として昨年2月から宅配を始めた。県内の移動販売の状況を含めて動向について注視している。

問 平成28年から8年間で宅地造成は460超区画が整備され、新たに人が住むようになり道路の状況が変わってきている。一時停止、センターラインや止まれの白線、スクールゾーン30等の交通安全の点検をやるべきではないか。

問 交通安全に向け標識の点検を
答 ゾーン30は有効な手段

答 通学路の安全対策としてのゾーン30は非常に有効な手段であり路側帯の着色、消えかかっている区画線の引き直しは重要な対策である。道路のパトロール、地域の方々の要望を警察とも情報共有しながら安全対策を図っていく。

その他の質問

- ・高齢者や障害者に対するゴミ出し支援について
- ・一般会計の財源、市税48億円の確保策は



問 市道の管理について

答 融雪剤の散布等適宜行っている

遠藤 初実
議員
(無所属)

問 大山・松沢線や仁井田・白岩線のように東西に延びる道路の南側車線は、冬場の日当たりが悪く、雪がとけず滑りやすい。冬季間の管理は。日当たりの悪い南側の斜面の角度を大きくして、その土を建設工事用として保存することは。

答 夕方と翌朝早朝の巡回で、融雪剤や滑り止め砂の散布を行っている。15センチ以上の積雪では、除雪を実施している。現地の土の質によって、県の土木マニュアルの基準があり、土の使用のための保管は、現在市では考えていない。



▲日当たりが悪い道路の冬季間の管理は



▲悪天候時には待機所が欲しい

問 少子化の進行等で集団登校が少なく保護者の送迎が多く見られるようであるが、通学路の安全確保は十分なのか。また、迎えの車を待つ児童生徒がスムーズに乗れるよう、待機場所の設置等が必要と思われるが見解は。

答 保護者の送迎、各学校で違うが中学校では3〜6割程度という結果が出ている。通学路の危険箇所等の指導、徹底やボランティアの協力で安全の確保を図っている。迎えの車を待つ場所の設置等については、今後の課題ととらえている。

問 新年度予算において、ふるさと納税寄附金、ふるさと納税として歳出予算に充てられており、寄附金などの事業に使われるのか分からない。従来のように一旦基金に積立、取り崩して各事業にすべきでは。

答 基本的には年度内に収入された寄附金は、その年度内に活用していきたい。この寄附金については、目的ごとの収入予想が難しいので、年度内にそれぞれの目的に応じて、使い道を示していきたい。

その他の質問

- ・市道の維持管理について
- ・農地の取得、管理について



問 迎えの車を待つ場所が必要では
答 待機場所の設置等は今後の課題

渡辺 秀雄
議員
(無所属)

問 障がい者手帳は紙でできているため、携帯することで破れるリスクがある。外出時の利便性の向上と社会参加を促すために手帳のカード化・アプリの導入をすべき。
障がいを持つ子供と持たない子供と一緒に楽しめるインクルーシブ公園を整備すべき。

答 障がい者手帳のカード化は県の方で検討している状況である。スマートフォン普及がかなり進んでおり、アプリの導入については、時代に合った環境整備が必要である。
バリアフリーに配慮し、インクルーシブ遊具は恵向公園に整備する。

問 貸与型の奨学金を借りたのは学生のうち3人に1人の割合。卒業後に返済している3分の2は年収400万円以下で、人生設計の重荷になり、結婚や出産に影響している。企業に対する代理返還の支援や本市に就職する若者の支援制度を設けては。

答 本市には独自の貸与型と給付型の2つの奨学金制度があるが、この数年、申込者数が少数となっている。企業への代理返還制度の周知を図るとともに、若者の定住人口の確保の観点から支援制度設計に様々な角度から前向きに検討していく。

その他の質問

- ・書かない窓口について



▲障がい者手帳のカード化・アプリ導入を



問 障がい者手帳をカードやアプリに
答 時代に即した対応にする

川名 順子
議員
(新風会)



▲まゆみクラブ連合会総会の様子



問 老人クラブ支援対策は

答 連携と環境整備に支援を継続する

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 本市の老人クラブは最近の高齢者を取り巻く状況の変化が厳しい中で活発に活動している。その支援は老人福祉法に基づくもので事業の進捗と適当な援助と連携および調整を図るなど実情に応じた体制の整備に努めるとあるがやっているとあるか。

答 まゆみクラブ連合会には補助金の交付や行事への協力、新規会員の募集記事や啓発もしている。要望等についても真摯に対応してきた。役員の手が足りないということから人的支援についての派遣などについては、できないという話をさせていた。

問 国保税の負担軽減すべきでは

答 国責任のもので減免する考えない

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 子育て支援という問題からも思うが、子供が多くなるという事が負担が多くなる子供の均等割り免除について、同じ年収同じ家族構成なのに保険料が2倍にもなるという問題を改善する方法が、950万円の財源でできること。実施すべきでは。

答 これまで国へ要望してきた未就学児の半額減免が、昨年4月から国の制度化が始まった。国保は国民皆保険で国民誰もが加入している最後の砦。子供の均等割り減免も国の責任でやるべきものと思っている。市の独自減免を行う考えはない。

その他の質問

- ・物価高騰分に見合う補助金で農家の支援すべき
- ・学校給食費の全額支援望まれるが今後の対応は



問 日影沢頭首工改修事業内容は

答 総事業費は2億8900万円

伊藤 隆一
議員
(無所属)

問 本施設は、石筵川に昭和41年までに整備された用水施設であるが、築造50年以上経過し経年劣化により、施設の機能低下や用水の安定供給に支障をきたしているため、修繕を行うということであるが、その事業内容は、

答 令和5・6年度で測量、基本設計、令和7年度実施設計、令和8・9年度で改修工事の内容は次のとおり。

総事業費は2億8900万円、受益面積は345.4ha。水利権割合は本宮市91.26%、郡山市8.74%。事業負担割合は国50%、県29%、本宮市、郡山市で14%。その他受益者7%。



▲修繕が行われる日影沢頭首工

第8回 本宮市議会 市民との意見交換会

第8回本宮市議会「市民との意見交換会」を、1月28日土曜日に市内3会場で開催しました。今回は「これからの地域のあり方・活性化について」をメインテーマとし、①子育て・教育について ②地域共助の在り方について ③その他 について、市民の皆さんと意見交換しました。いただいたご意見やご提案については、集約・精査を行い、今後の政策形成に生かしていきます。それぞれの会場のご意見やご提案の中から、一部を掲載いたします。

本宮第一中学校区

会 場：中央公民館

参加市民：15名

出席議員：馬場亨守、菊田広嗣、斎藤雅彦、円谷長作、作田 博、国分勝広、三瓶裕司（7名）



①子育て・教育について

・しっかりと人口減少対策をしていただきたい。若い世代に住んでもらう取り組みをしているのはわかっているが、更なる子育て施策の充実を。

・不登校になった子どもにも学校・家庭ではく第三の居場所を作ってあげることが大切と考える。そういった取り組みをしている民間団体を支援してほしい。

・児童館に待機している子どもにも、図書室が必要ではないか。

②地域共助の在り方について

・ゆるくつながって社会貢献できるシステムを、総合的に構築したほうがよい。例えば市としてベルマークを集めるなど、ボランティアの成果を数値化できるよう工夫してほしい。

・住宅地、アパート、商店街などの地域割りが必要だと思う。宅地と農地のバランスをどのように考えているのか。

③その他

・市議会議員選挙が無投票にならないよう、議員を育ててほしい。投票にならないという結果は、重大だと思う。

・まちタクの時間を長くしてほしい。

市民との意見交換会



本宮第二中学校区

会場：荒井地区公民館
 参加市民：3名
 出席議員：根本利信、遠藤初実、石橋今朝夫、橋本善壽、渡辺秀雄、川名順子、伊藤隆一（7名）

①子育て・教育について
 ・支援策について、妊婦など若い人の意見を聞く場があってもいいのではないかと。急な用事ができるとき、子どもを預けられるところがあればよいのではないかと。

②地域共助の在り方について
 ・地域で高齢者を見守っていくことは大変なことだと思ふ。プライバシーの問題もあり、どこまで関わっていいのかわからない。
 ・困ったときに、手続きが難しくなく施設に入所できるようにすれば、安心して働くことができるようになると思ふ。

③その他
 ・防犯のために、住宅新築の際に道路側に外灯、門灯を設置する助成制度を設けてはどうか。
 ・市道のセンターラインや側線が消えているところが目立つ。経費もかかると思ふが、どうなっているのか。



白沢中学校区

会場：白沢公民館
 参加市民：4名
 出席議員：磯松俊彦、菅野健治、渡辺由紀雄、渡辺忠夫、渡辺善元（5名）

①子育て・教育について
 ・子どもを増やすには、保育所を増やさないとけない。学生の現場実習を、年間を通じて受け入れるなど独自の取り組みをする必要があるのでは。

②地域共助の在り方について
 ・行事に頼りすぎると、人を集めなければいけないとなるので、そこに自然と人が集まるような拠点の場所があればよいのではないかと思ふ。白沢という大きな単位でなく、少し分けた単位で。
 ・空き家を改築し、一人で住んでいるお年寄りの方が夜だけ集まれる場を作ってはどうか。私たちの先輩方が生き生きと生活できる地域を作っていくのも、行事に代わる一つの目玉になるのでは。

③その他
 ・高齢者になると介護が必要になる。自宅での介護が難しい場合、施設入所になるが、多くの方が待機中である。白沢地区に介護施設を検討してほしい。

故渡辺善元副議長のご逝去を追悼



3月定例会最終日の24日、3月4日にご逝去された故渡辺善元副議長へ橋本善壽総務文教常任委員長より、市議会を代表して追悼の言葉が述べられ、議場出席者全員が黙祷を捧げました。

4期15年にわたり、地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献された故渡辺善元副議長のご冥福をお祈りいたします。

令和5年2月3日
第1回臨時会

令和4年度本宮市一般会計補正予算(第10号)などを可決

2月3日に第1回臨時会が開かれ、市長から議案3件と報告1件が上程されました。

議案は、白沢公民館改修建築主体工事請負契約について、白沢公民館改修電気工事請負契約について、令和4年度本宮市一般会計補正予算(第10号)であり審議の結果、全会一致で全議案可決しました。
報告については、専決処分の報告についてであり、和解及び損害賠償額の決定について報告がありました。

あとかき

桜花春風に微笑む季節となりました。本宮市議会三月議会は予算議会とも言われています。予算は令和5年度1年間の本宮市の方向性を決める設計図のようなもので、予算審議は重要事項であります。そのために議会予算審査特別委員会を設置し予算審査をいたしました。今年度予算総額は前年度比11億5千万円減少した予算であります。少子化対策事業としての「出産・子育て応援金」や保育所費、その他の子育て予算が増加しており、小さな子どもさんを持つ世帯には喜ばしいことでもあります。迫りくる少子化による人口減少はこれからが本番になります。全市民が知恵を出し合って考えてゆかねばなりません。
(国分)

次回6月議会定例会は

6月6日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
5月25日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問い合わせ TEL24-5435

発行責任者	議長	三瓶 裕司
広報広聴委員会	委員長	斎藤 雅彦
副委員長	石橋今朝夫	
委員	磯松 俊彦	
委員	根本 利信	
委員	菊田 広嗣	
委員	三瓶 幹夫	
委員	国分 勝広	
委員	渡辺 秀雄	